

除鉄槽

品 番 HI-S30

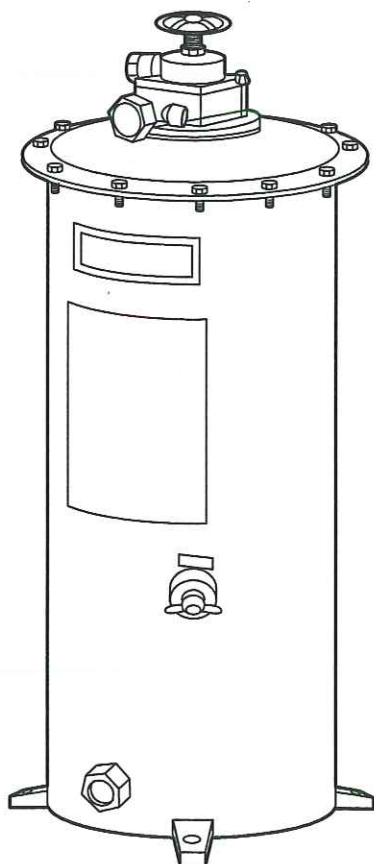
「取扱説明書」お客様用 P1～P6

「据付説明書」販売店（工事店）様用 P7～裏表紙

お買い上げまことにありがとうございます。

- 「保証書」を受けとっていることを必ず確認してください。
- この「取扱説明書」と添付の「保証書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに「保証書」とともに大切に保管してください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



もくじ

取扱説明書 “お客様用”

	ページ
■安全上のご注意	1
■各部のなまえとはたらき	2
■使用上のご注意	3
■お手入れのしかた	4
■鉄分(ｶﾅ)の測定方法	5
■故障かな?と思ったときは	5
■アフターサービスについて	6

据付説明書 “販売店(工事店)様用”

	ページ
■据え付け配管工事の手引き	7
・工事をされる方へのお願い	7
■据え付け前の確認事項	7～8
■据え付け時のご注意	8
■配管工事について	9
■試運転（次亜うすめ倍率早見表）	10
■仕様	裏表紙
■お客様への引き渡し（覚え書き事項）	裏表紙

- 据え付けはお買い上げの販売店または工事店に依頼してください。
- ご購入除鉄槽の品番確認は圧力タンクの銘板表示をご覧ください。

機能

本商品は、除菌器(HE-30)との組み合わせで、井戸水の除鉄・除菌を行うものです。

※除菌器(HE-30)は次亜塩素酸ナトリウム（以降本書では次亜と略します。）を注入する機器です。

※除菌器(HE-30)の取扱説明書もよくお読みいただき、正しくお使いください。

安全上のご注意

- ※ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ※ ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告：**人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意：**人が損害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例



△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



プラグを抜く

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



強 制

鉄分（カナケ）測定試薬はお子さまの手の届かない冷暗所に保管してください。

※ 薬液を飲用すると体に害を与えます。



プラグを抜く

動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため、すぐに井戸ポンプの電源プラグを抜くか、または電源を切ってお買い上げの販売店または工事店に必ず点検・修理をご依頼ください。

※ 感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。



分解禁止

改造しないでください。修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理をしないでください。

※ けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店またはお客さまご相談窓口にご相談ください。

注意



強 制

製品の上にものを載せたり、人が乗ったりしないでください。

※ 変形・破損によりけがをする恐れがあります。



強 制

定期的に「逆洗」を行ってください。

※ ろ材のろ過能力を回復させます。

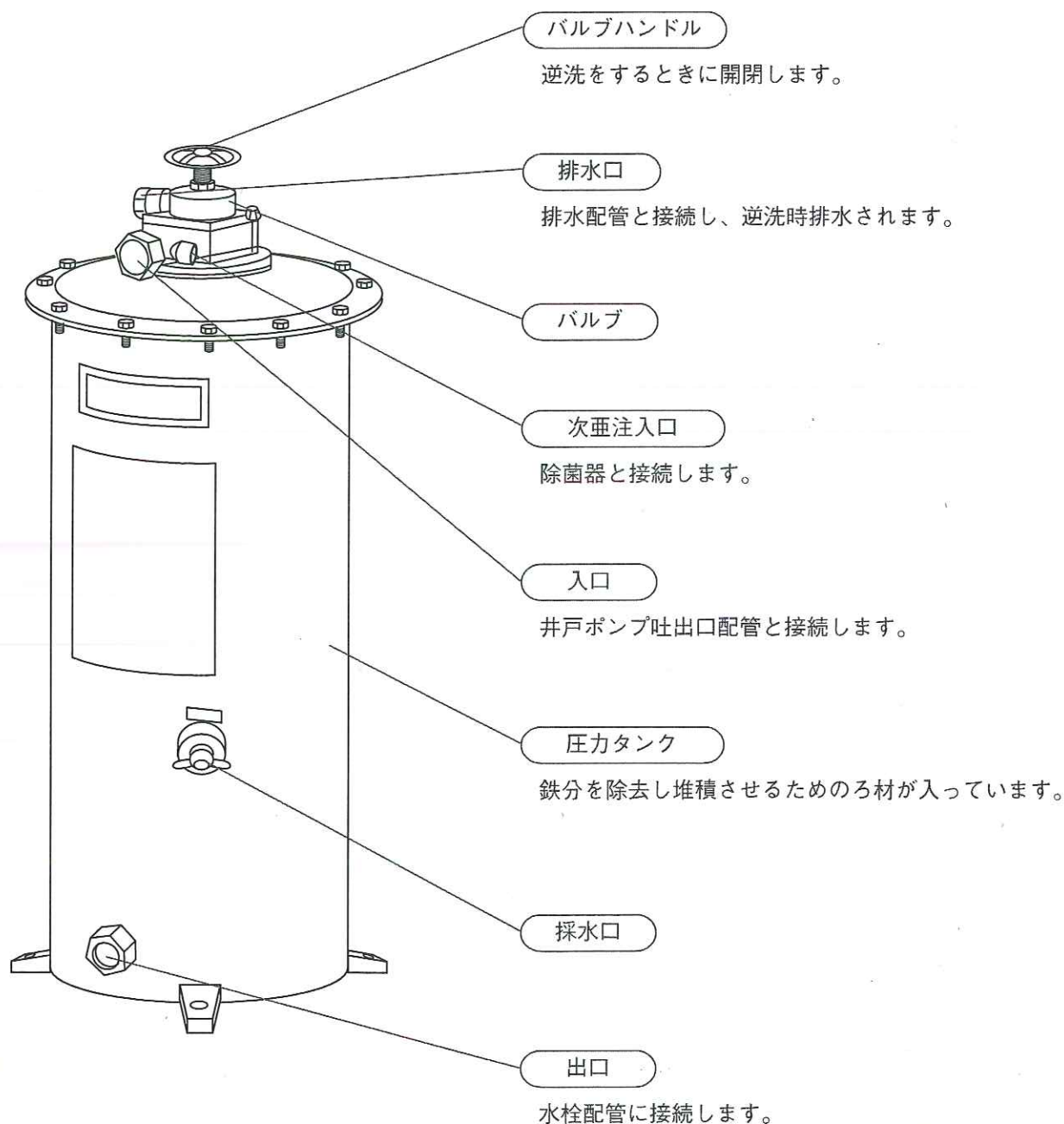


強 制

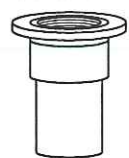
床面が防水処理・排水処理されているか確認してください。

※ 水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

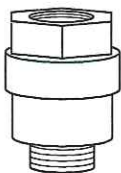
各部のなまえとはたらき



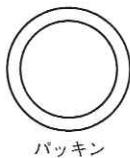
●付属品



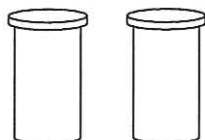
給水栓ソケット



フートバルブ



パッキン



ユニオンソケット
(25mm 出口・入口用)



ユニオンソケット
(13mm 排水口用)



特殊ワッシャ

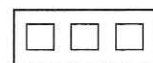
鉄分（カナケ）測定試薬



鉄分測定試薬



試験管



鉄用比色板

使用上のご注意

- 据え付け前後、および定期的に保健所で水質検査を行ってください。

※ 井戸水の水質が変化する場合がありますので、定期的に水質検査をしてください。

水質検査を依頼する際、次のことに注意してください。

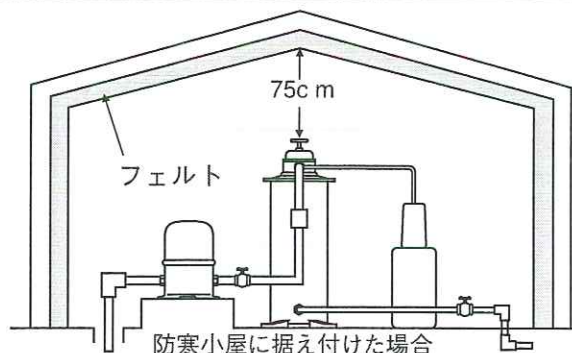
1. 水質検査（化学試験・細菌試験）には、井戸原水と除鉄槽、除菌器を通した処理水が必要です。

2. 細菌試験をされる場合

- ① 細菌試験の採水容器は、保健所で滅菌したものをご使用ください。
 - ② 細菌が付着しないように、容器や栓の内側には手などを触れないでください。
 - ③ 容器が汚染されないように短時間で採水し、すぐに保健所へ依頼してください。
- その他、水質検査法については、各地の保健所にご相談ください。

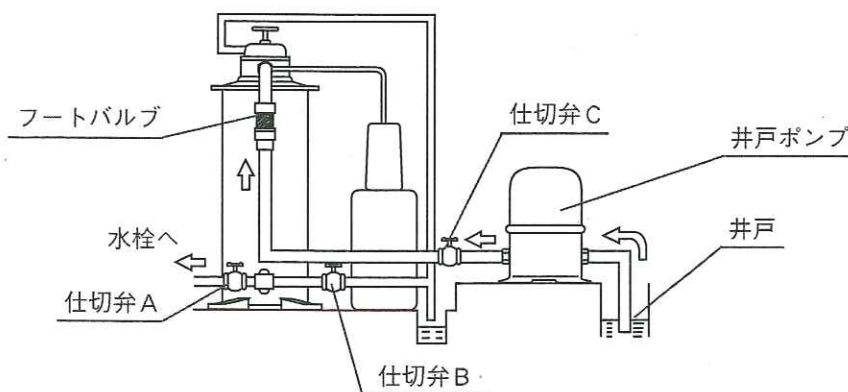
- 冬季には必ず凍結防止策を行ってください。

※ 次亜の補給や修理点検が容易にできるスペースを設け、夏期には通風ができるようにしてください。



- 夜間でも井戸ポンプの電源を切らないでください。また、停電したときは仕切弁Cを閉じてください。

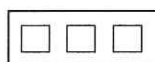
※ 万一、配管のフートバルブと井戸ポンプ内部の逆止弁が故障したとき、水落ちにより次亜が逆流することがあります。



- 鉄分測定試薬の取り扱いについて

※ 鉄分測定試薬が無くなりましたら、除鉄槽をお買い上げの販売店などでお求めください。

鉄分測定試薬（サervis部品コード 639 012 8188）



お手入れのしかた

逆洗のしかたについて

※ 逆洗とは、この除鉄槽により除去され堆積した鉄分（カナケ）を除鉄槽外に排出し、ろ材の寿命を長くするための操作です。

逆洗の周期

逆洗周期は一般的に下記の数式で表せますが、濁りがひどい場合は周期が短くなります。

$$\text{日数} = \frac{10 \text{ (除鉄容量 ppm} \cdot \text{トン)}}{\text{井戸水の鉄分(ppm)} \times 1 \text{ 日の水量 (トン)}}$$

〈例〉

鉄分 2 (ppm) 1 日の使用水量 1 (トン)

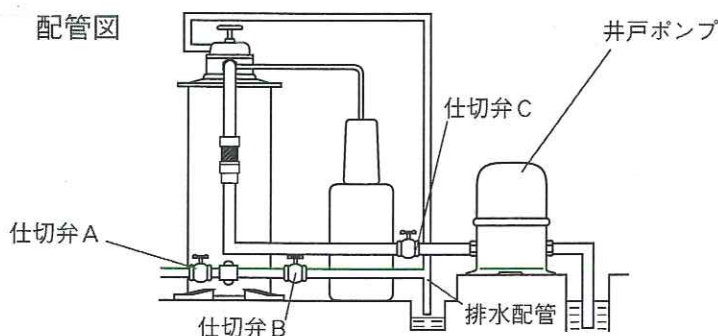
$$\text{日数} = \frac{10}{2 \text{ (ppm)} \times 1 \text{ (トン)}} = 5 \text{ (日)}$$

5 日毎に逆洗が必要です。

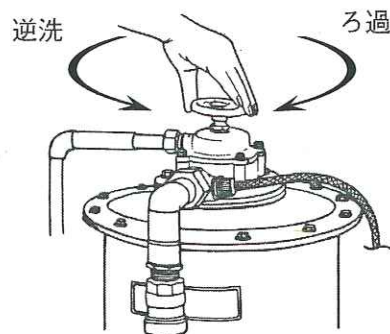
※ 1 日の使用水量にかかわらず、毎日逆洗するように心がけてください。

逆洗の手順

配管図



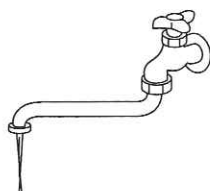
1. 除鉄槽に配管している仕切弁 A, B を閉じてください。
2. ハンドルを「逆洗」の方向に止まるまで回します。
3. 排水配管出口より水が出ることを確認し、15 分以上逆洗を行ってください。
4. 逆洗が終わりましたら、ハンドルを「ろ過」の方向に止まるまで回してください。
5. 除鉄槽に配管している仕切弁 B を開いて濁りがなくなるまで（2～3 分）捨水をしてください。
6. 仕切弁 B を閉じてください。
7. 仕切弁 A を開いてください。



ご注意

揚水量 20 L / 分以下の井戸ポンプに使用している場合は逆洗が不完全になりやすいので 2～3 分毎にハンドル操作（逆洗 2～3 分→ろ過 30 秒→逆洗）を 5～6 回繰り返して行ってください。

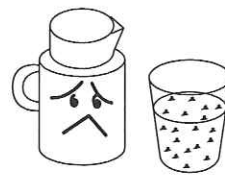
● 逆洗を定期的に行わないと、除鉄槽の圧力タンク内に除去した鉄分や濁りが蓄積し次のような現象が生じます。



水の出が悪い



カルキ臭が強い

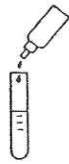
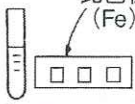


水が濁る

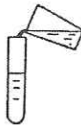
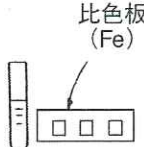
鉄分（カナケ）の測定方法

1. 除鉄槽を通した水の、鉄分量を測定します。

測定方法

① 試験水で試験管を洗い 試験水を目印まで採水 します。	② 鉄分測定試薬を2滴加 えます。	③ よく振りまぜます。	④ 水の色と比色板の色と を比較し、鉄分量 (ppm)を測定します。
			 試薬を入れてから約30分以上 経過後、色を比べてください。

- 鉄分が5 ppm 以上の場合は、次のようにして再測定してください。(井戸原水を測定する場合など)
※鉄分を含まない清水と容器を準備してください。

① 井戸水（原水）を準備 した清水で2倍にうす めます。	② 容器から目印まで採水 し、前項の②～④を 行います。	③ 測定した鉄分量を2倍 に換算します。	
			井戸水（原水）中の鉄分量 (ppm)=鉄分の読み(ppm)×2

2. 測定していただいた結果、鉄分量が0.3ppm以上の場合は逆洗を行い、除菌器の次亜タンク内の次亜がからになっていないことを確認のうえ、鉄分量を再測定してください。

※ 逆洗を行っても鉄分量が0.3ppm 以上の場合は、お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

警告



強 制

鉄分（カナケ）測定試薬はお子さまの手の届かない冷暗所に保管してください。

※ 薬液を飲用すると体に害を与えます。

※ 冷暗所に保管しないと薬品の除菌力が弱まります。

故障かな？と思ったときは

故障かな？と思われましたら、修理を依頼される前に下記の表をご覧になり適切な処置をお取りください。

こんなときは	原因	処置	参照ページ
カルキ臭が強い	① 井戸水が変化している。 ② 除菌器のダイヤル目盛が調整位置から動いている。	① 除菌器の次亜注入量を調整する。 ② 除菌器のダイヤルをもとの調整位置に合わせる。	除菌器の取扱説明書をご覧ください。
逆洗をしても鉄分がでる	① 除菌器の次亜タンク内の次亜がからになっている。 ② 除菌器のダイヤル目盛が調整位置から動いている。	① 次亜を補給してください。 ② 除菌器のダイヤルをもとの調整位置に合わせる。	除菌器の取扱説明書をご覧ください。
水量が減少した	① 鉄分が堆積している。	① 逆洗をしてください。	4

※ 以上のことを確認されても症状が解消されない場合は、すぐに井戸ポンプの電源プラグを抜くか、電源を切ってお買い上げの販売店または工事店に点検・修理をご依頼ください。

アフターサービスについて

1.保証書

●この商品には保証書がついています。

保証書は別に添付しております。販売店（工事店）から受け取っていただき必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

●保証期間中の修理

保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店（工事店）が修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎていたときは

修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。くわしくは、お買い上げ販売店（工事店）にご相談ください。

●修理点検でポンプ以外に原因があった場合は保証期間内でも有料になることがあります。

3.補修用性能部品の保有期間

ポンプの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.アフターサービスについてご不明の場合

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店（工事店）へお問い合わせください。

また、ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ・・・

製品の修理及び部品のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

アフターサービス相談窓口

◆フリーダイヤル  **0120-388-365** 携帯電話からも通話可能です。

◆お問い合わせ時間 365日9:00～19:00受付致します。

JBR [ジャパンベストレスキューシステム (株)] が代行致します。

ポンプの技術相談窓口

◆フリーダイヤル  **0120-340-841** 携帯電話からも通話可能です。

◆お問い合わせ時間 平日（月曜日～金曜日）8:30～12:00、13:00～17:00 土日祝日及びゴールデンウィーク・年末年始・夏期休暇等の当社指定休日は休ませていただきます。

△安全に関するご注意

●ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●消費電力が1kW以上の機器は、定格15A以上の電源コンセントに直接接続してお使いください。火災の原因となります。●アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置してください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。●電気配線、配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行ってください。●用途にあった商品をお選びください。不適切な用途で使われますと、事故の原因になることがあります。●床面が防水処理・廃水処理されているか確認してください。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

愛情点検



このような症状はありませんか

★長年ご使用のポンプの点検を★

●運転するとブレーカーや漏電遮断器が動作する ●ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。 ●水を使用していないのに、ポンプが運転する。 ●コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。 ●運転中に異常な音や振動がする。 ●水漏れがする。 [ポンプヘッド部、圧力タンク、継ぎ手など] ●焦げ臭い“におい”がする。 ●触れるとビリビリと電気を感ずる。 ●その他の異常がある。

●このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、または電源を切ってから必ず販売店に点検・修理を御相談ください。

[保証書に関するお願い] ●商品には保証書を添付しております。ご購入の際は、必ず保証書をお受取りの上、保管ください。尚、店名、ご購入年月日の記載のないものは無効となります。

●商品の補修用性能部品の保有年数は、製造打ち切り後8年です。

[その他付記事項] ●製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。●製品の色は印刷物ですので実際の色と多少異なります。



ケービーエス工業株式会社

〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台9丁目1番3

TEL 050-3537-8808(代)

URL <http://www.kps-k.co.jp/>

● 据え付けはお買い上げの販売店または工事店に依頼してください。

※ ご自分で据え付け工事をされ、不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

据え付け配管工事の手引き

工事をされる方へのお願い

- 製品の機能が十分に発揮できるように、この「据付説明書」の内容に沿って正しく据え付けてください。
- 据え付け後は必ず試運転を行い、水漏れや運転状態に異常がないか確認してください。
- 工事の前に、この「工事をされる方へのお願い」をよくお読みのうえ、正しく据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ **警告：**人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ **注意：**人が損害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例



△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



プラグを抜く

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警告



分解禁止

改造しないでください。修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理をしないでください。

けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店またはお客さまご相談窓口にご相談ください。



プラグを抜く

除鉄槽の設置の際は必ず井戸ポンプの電源プラグを抜くか、または電源を切って作業を行ってください。

けがをすることがあります。



強制

動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため、すぐに井戸ポンプの電源プラグを抜くか、電源を切り断じてお買い上げの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。

感電や漏電・ショートなどをによる火災の恐れがあります。

⚠ 注意



禁止

製品の上に物を載せたり、人が乗ったりしないでください。

変形・破損によりけがをする恐れがあります。



強制

床面が防水処理・排水処理されているか確認してください。

水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

据え付け前の確認事項

1. 除鉄槽は単独ではご使用できません。必ず別売りの除菌器(HE-30)と組み合わせてご使用ください。また、除菌器の次亜タンク内の次亜が空の状態での使用もおやめください。
※除菌器、除鉄槽の故障の原因になります。

2. 据え付け前に、井戸水の水質検査を保健所に依頼してください。

※除去できる成分と、除去できない成分があります。

除去できる成分（除菌器を組み合わせた場合）		除去できない成分	
・鉄分 （カナケ）	井戸水に溶けこんでいる鉄分の水酸化第一・第二鉄、重炭酸第一鉄、硫酸第一鉄を除去します。 （タオル、洗たく物を黄色くするような水。原水は無色透明。放置しておくとう褐色の沈殿物を生ずる。）	・有機鉄 （コロイド鉄）	原水は褐色透明に着色していますが、放置しても沈澱しません。
		・珪酸鉄	原水は無色透明で、次亜を入れて放置しても沈澱しませんが、お湯を沸かすと褐色に変化します。
・濁り	水に混入している各種の濁り（砂、その他のゴミ類） ※5/1000mm以上の粒子を除去します。	・マンガン	原水は無色透明で、次亜を入れて放置しておくとう褐色の沈澱物を生じ、更に黒褐色に変化します。次亜を入れた後透明でも、煮沸すると褐色の沈澱物を生じます。（流し台、タイル等が黒くなり一般に黒いカナケと呼ばれています。）
・細菌	地下水（井戸水）に侵入、浮遊している一般細菌・大腸菌を除菌します。	・硬水 （セッケンの泡立ちの悪い水）	硬水を軟水に変えることはできません。
※ただし、下記の成分が条件により増加すると除鉄が不完全になります。		・色	最初から着色している水の色は除去できません。
・PH	5.8～8.6の間にあること。	・塩分	水に溶けている塩分。（塩素イオン）
・アンモニア	0.1ppm（微量）以下のこと。	・有機物	動植物の腐敗した成分。
・過マンガノ酸 カリウム消費量	10ppm以下のこと。	・臭気	下水臭等。
		・原虫 （クリプトポリジウム）	除去できません。0.1ミクロン以下のフィルター浄水器を用いて濁度を0.1度以下に維持してください。

据え付け前の確認事項

除鉄限界

ろ過水量 (L/分)	20	30	40
除鉄濃度限界 (ppm)	10	6	3

〈例〉10 ppmの鉄分を含む井戸水は20 L/分以上の水は通水できません。
※ 除去できる成分以外の検査項目も、水質基準以内であることを確認してください。

3. 配管について

- 家庭用井戸ポンプ (150W～400W) に配管できます。
簡易水道には配管できません。

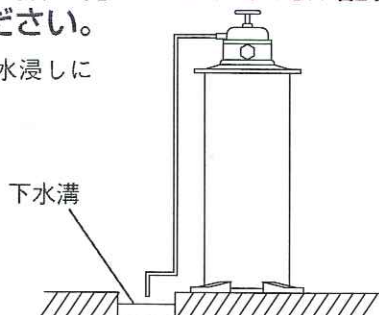
4. 据え付け場所の確認

- 点検・修理のしやすい場所を選んでください。

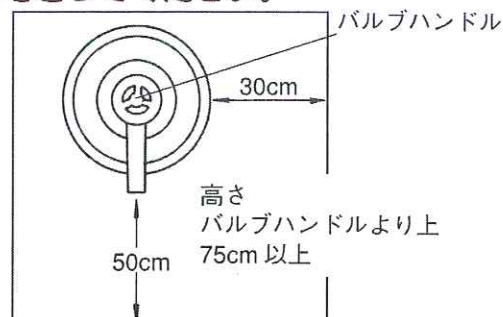
据え付け時のご注意

逆洗をした場合、容易に排水ができるよう下水溝の近くに据え付けるか、または配管しておいてください。

※ 逆洗時、周囲が水浸しになります。

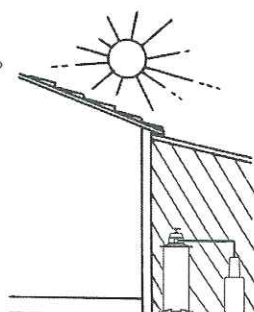


次亜の補給・逆洗・修理点検が容易にできるスペースをとってください。



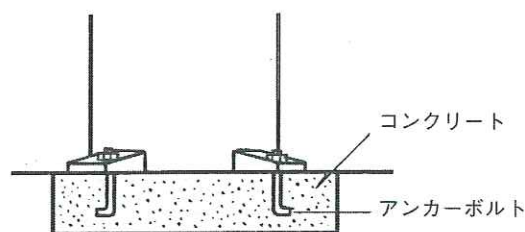
直射日光の当たらない屋内または、日陰に据え付けてください。

※ 次亜濃度の低下を防ぎます。



平らな場所に設置し、動かないようアンカーボルトで固定してください。

※ 基礎は、コンクリートでつくことをおすすめします。



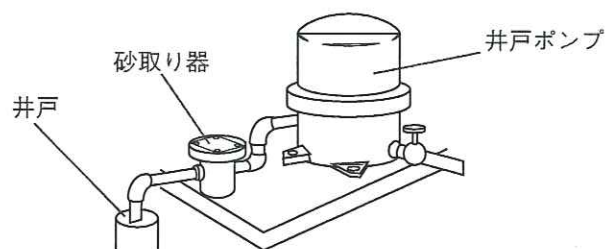
湧水量の少ない井戸には使用できません。

※ 逆洗時に600 L程度の多量の水が必要です。水栓を全開にして15分以上 (逆洗水量40L/分) 流しても、井戸がれしないことを確認してから据え付けてください。



砂を吸い上げる井戸には、必ず「砂取り器」を取り付けてください。

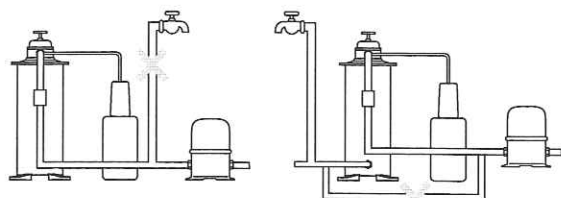
※ 吸い上げた砂がろ過能力を低下させたり、故障の原因になります。



井戸ポンプと除鉄槽の間に水栓を設けないでください。

また、バイパス配管はしないでください。

※ 原水が除鉄・除菌されずに水栓より出てしまいます。

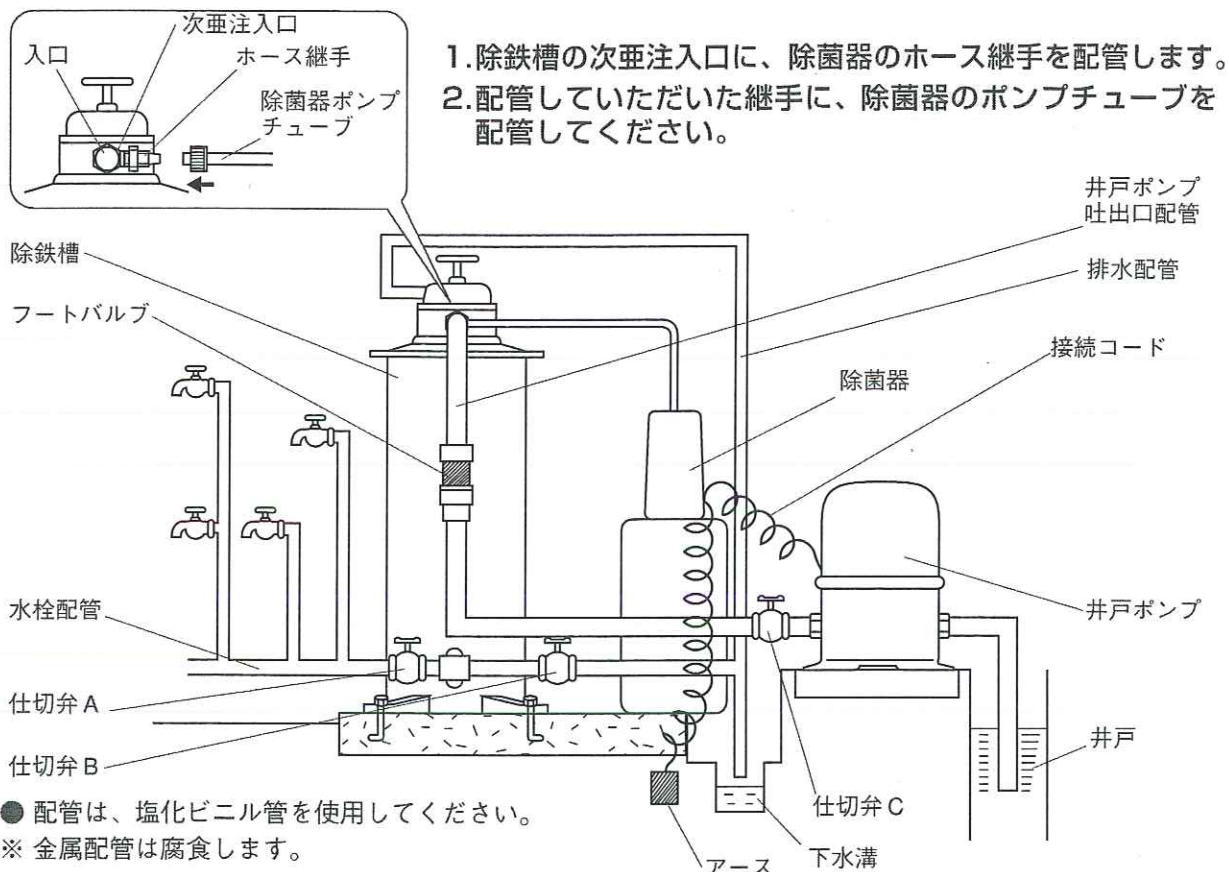


注意

砂取り器は必ず井戸と井戸ポンプとの間に取り付けしてください。

配管工事について

井戸ポンプとの配管接続

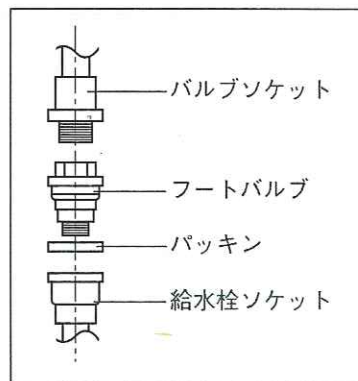


- 井戸ポンプと除鉄槽の配管の間（井戸ポンプ吐出口配管）には、フートバルブ、仕切弁Cを取り付けてください。
- ※ フートバルブ、仕切弁Cは井戸ポンプ停止時に万一降水した場合、次垂が井戸へ逆流するのを防ぎます。

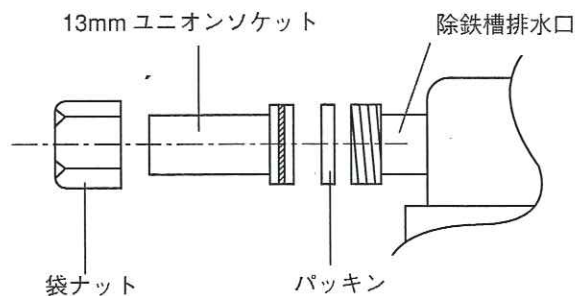
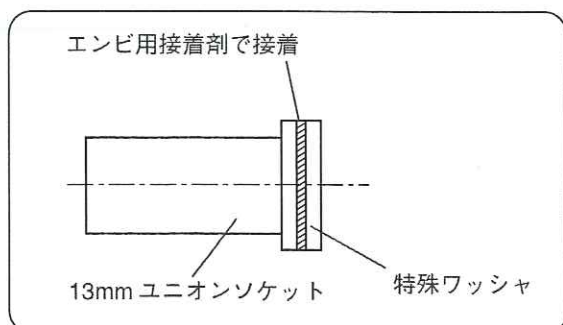
ご注意

フートバルブは必ず垂直に取り付け、雄ねじが下部になるようにしてください。また、雄ねじの下部には必ず付属のパッキンと給水栓ソケットを使用してください。

※ エルボやチーズのようなテーパードねじと配管すると弁が動作しなくなります。



- 除鉄槽の出口側の配管には仕切弁A、仕切弁Bをそれぞれ取り付けてください。
- 400Wの井戸ポンプを接続する場合は逆洗の排水口に使用するユニオンソケットに特殊ワッシャをエンビ用接着剤で接着してください。



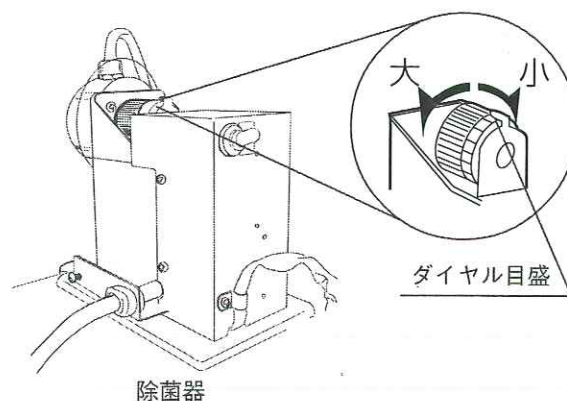
- バルブソケットなどの配管接続には、シールテープを使用して確実に配管してください。

試運転

次亜うすめ倍率早見表（目安）

※ 除鉄槽をお使いの場合、除菌器のうすめ倍率、ダイヤル目盛は下記表を参照してください。

地域	ポンプ 揚水量	鉄分 (ppm)	1	3	5	8	10
50 Hz	20L / 分	うすめ倍率	10	8	5	4	2
		ダイヤル目盛	3.0	4.3	3.6	4.6	2.5
	30L / 分	うすめ倍率	8	5	4		
		ダイヤル目盛	3.7	4.0	4.4		
	40L / 分	うすめ倍率	5	4			
		ダイヤル目盛	3.0	4.3			
60 Hz	20L / 分	うすめ倍率	10	8	5	4	2
		ダイヤル目盛	2.5	3.7	3.0	3.9	2.0
	30L / 分	うすめ倍率	8	5	4		
		ダイヤル目盛	3.2	3.4	3.8		
	40L / 分	うすめ倍率	5	4			
		ダイヤル目盛	2.5	3.7			



除菌器の次亜うすめ倍率の決定

1. 井戸ポンプ揚水量の確認

- ① 水栓を全開にします。
※ 同時に使用される可能性が高い水栓（例えば風呂場と台所）は全て全開にします。
- ② ポリバケツなどを使用して、1分間あたりの吐水量を測定します。
※ 目盛がわからない場合は、除菌器に付属の計量カップを利用してポリバケツに印をつけ、測定してください。



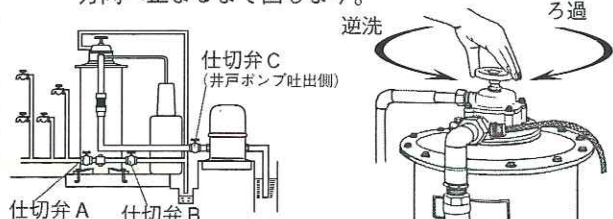
$$\text{井戸ポンプ揚水量 (L / 分)} = [\text{吐水量 (L / 分)} \div \text{1 個の水栓}] \times \text{同時に解放した水栓の数}$$

2. 必ず本書の次亜うすめ倍率早見表より除菌器のダイヤル目盛を決定してください。

3. 除菌器の据付説明書「試運転」の項をご覧になり正しく次亜の補給を行ってください。

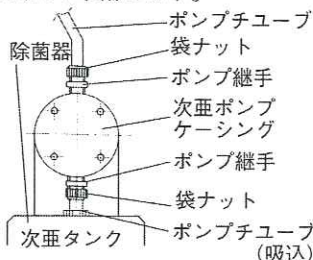
4. 次亜の浸漬のさせかた

- ① 仕切弁Aを閉じます。
仕切弁B、Cを開きます。除鉄槽ハンドルを「ろ過」の方向へ止まるまで回します。

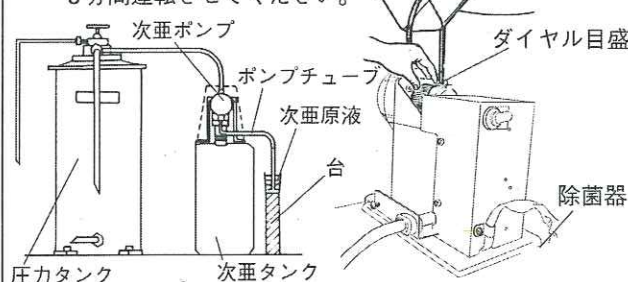


- ② 井戸ポンプの電源を入れ、2～3分間放水して仕切弁Bを閉じてください。
- ③ 除鉄槽のハンドルを「逆洗」の方向へ止まるまで回し、5分間排水させてください。
- ④ 除鉄槽のハンドルを「ろ過」の方向へ止まるまで回し、井戸ポンプの電源を「切」にしてください。
- ⑤ ろ材の活性化を計るため、次亜の浸漬を行います。
次亜原液（別売品の次亜をうすめず）を除菌器に付属の計量カップに200mL入れて準備します。

- ⑥ 除菌器、次亜ポンプケーシング下に取り付いている袋ナットをはずし、次亜タンクに差し込まれているポンプチューブ（吸込）を引き抜いた後、この状態のまま袋ナットを次亜ポンプケーシングの元の位置に取り付けてください。



- ⑦ ポンプチューブ（吸込）の先端を準備していただいた次亜原液の入った計量カップに入れて、除菌器のダイヤル目盛を10に合わせてください。
次に、井戸ポンプの電源を入れ、仕切弁Bを開けて約5分間運転させてください。



- ⑧ 計量カップ内の次亜原液がなくないうちに、井戸ポンプの電源を切りにし、仕切弁Bを開けて約10分間放置してください。
※ ⑥の項目と同じ要領でポンプチューブを次亜タンク内に戻しておいてください。
- ⑨ 次亜浸漬は終わりましたが、除鉄槽圧力タンク内は高濃度の次亜で満たされていますので、次の要領で洗浄を行ってください。
- ⑩ 仕切弁Bを開け、井戸ポンプの電源を入れて5分間運転させます。
※ このときの排水は、高濃度の次亜で酸化されたろ材により着色されていますが、洗浄を行うことにより次第に着色がなくなります。
- ⑪ 仕切弁Bを閉じます。
仕切弁Aを開いてください。

5. 除菌器の取扱説明書「ご使用方法」の項をご覧になり正しく次亜注入量（ダイヤル）の調整を行ってください。

仕様

品 番	H I - S 3 0	使用ポンプ	150～400Wの井戸ポンプ
ろ過能力	5/1000mm以上の粒子を除去	入口管径	25mm袋ナット式
ろ過水量(L/分)	20 30 40	出口管径	25mm袋ナット式
ろ過抵抗 kPa[kgf/cm ²]	10 (0.1) 20 (0.2) 40 (0.4)	排水口管径	13mm袋ナット式
除鉄の限界	10ppm (mg/L)	製品寸法	高さ831mm×幅366mm×奥行き366mm
除鉄ろ過容量	10g (=10mg/L・トン)	製品質量	56kg

● 本製品は井戸ポンプ、除菌器と配管接続してご使用してください。

※ 水圧が300kPa (3 kgf/cm²) を越える井戸ポンプ、流量スイッチで停止する井戸ポンプには使用しないでください。(但し、当社コンパクトポンプは接続できます。)

お客様への引き渡し

1. お客様に除鉄槽の取り扱いと取扱説明書の注意事項や日常の点検、お手入れの方法など、現品で具体的に説明してください。
2. 寒冷地での凍結防止対策は具体的に説明してください。
3. 長期間お使いいただくためには、定期点検が必要なことをお客様にご説明のうえ、点検の相談や使用上の質問などに適切に対応してください。
4. 保証書に所定事項をご記入のうえ、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

お客さまによく説明してください。

- ① ご使用の当初はカルキの臭いが気になるかも知れませんが都市水道と同じ成分で除菌しますので、人体への影響はありません。
- ② 末永く安全に除鉄槽を使っていただくためには、定期的に「鉄分の測定」「逆洗」を行っていただくことが必要なことをよく説明してください。
- 一般家庭の1日あたりの平均使用水量は、4人家族で1トン程度です。
- 夏期など、水の使用量が増加する場合は、次亜の補給周期が早くなりますので注意をしてください。
- ③ ご使用の状態を、裏表紙の「覚え書き事項」の欄に記入してください。

覚え書き事項

据え付け時、販売店または工事店に記入してもらってください。サービス依頼の際便利です。

●お取り付け日 年 月 日	●製造番号No.
●井戸水の鉄分量 ppm	●1日の使用水量 トン
●ポンプの機種・出力	●逆洗までの期間 日に1回
●販売店名・工事店名	●水栓の数
●住 所	●TEL